

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	①自治会に入会している。町内の回覧板で事業所の行時をお知らせ参加を促している。ボランティア団体の受け入れをし地域との交流を図っている	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	②運営推進会議で出された意見などについて、実現に向けた取組を行っている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	①市主催の調整会議などに参加している。また、日常的にも情報交換を行っている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	②利用者、家族の苦情要望を受け止める仕組み（運営推進会議・施設内に相談窓口）がある。 ③家族向けの森津苑便りを毎月発行している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	×
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		×

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

地域との付き合いは、ボランティアの受け入れなどは活発だが、現時点では地域のホームに対する理解も今一步と言わざるを得ない。運営推進会議に関しては、議論の内容は有意義なものとなっているが、第85条の規定どおりに運用されるに至っていない。利用者や家族の意見を運営に反映する機会は、運営推進会議や家族アンケートなどがあるが、実質的には家族の訪問ごとにホーム職員との間で行われるやり取りが主で、その結果は「ご家族様対応記録」にも記録され、きめ細かなフォローが行われている。

- 外部評価軽減要件
  - 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
  - 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
  - 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
  - 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。
- 外部評価軽減要件④における県の考え方について
 

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
	(例示)
2. 事業所と地域とのつきあい	① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。

